

平成31年(令和元年)度神奈川県消防協会事業報告(平成31年4/1~令和2年3/31)

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
I 会 議	1 次の会議を開催し会務の進展を図った。		
	(1) 7地区消防団事務担当者会議 ・於 シルクセンター		4/25
	(2) 理事会 ・定時(第1回) 於 シルクセンター		5/9
	・臨時 於 シルクセンター		10/3
	(3) 評議員会		5/24
	・定時 於 産業貿易センター		
	(4) 消防団事務担当者会議		
	・於 マホロバマイズ会議室 三浦市南下浦町上宮田3231		7/18~19
	出席者 大津会長他事務局長以下4名 日本消防協会5名 消防職員73名		
	(5) 正副会長会議	(公2)	
・第1回 於 シルクセンター		8/20	
(6) 表彰審査委員会			
・於 シルクセンター		8/20	
2 次の会議に出席し、会務を調整した。	(公3)		
(1) 日本消防協会役員会議			
ア 理事会・評議員会			
・於 日本消防協会 (理事)大津会長・事務局長 2名出席		6/14	
イ 理事会			
・於 書面決議 日本消防協会		5月下旬	
(2) 関東甲信地区消防協会長会議(茨城県)		6/7~8	
・於 茨城県土浦市城北町2-24ホテルマロウド 筑波			
会長・事務局長出席			
(3) 関東甲信地区消防協会実務担当者会議(長野県)		7/2~3	
・於 長野市県町528-1 長野ホテル犀北館 事務局長・事務局員1名出席			
II 表 彰	1 平成31年度神奈川県消防功労者表彰	(公3)	3/30
(1) 消防団の表彰			
ア 表彰旗 1団	川崎市川崎消防団		
イ 竿頭綬 3団	横浜市青葉消防団、逗子市消防団、真鶴町消防団		
(2) 消防団員の表彰			
ア 功績章	200名		
イ 勤続章50年	1名		
ウ 勤続章20年	393名		
エ 精勤章20年	393名		
オ 精勤章10年	578名		
カ 精勤章5年	866名		
2 第72回日本消防協会定例表彰		(公2)	3/3
(1) 特別表彰	まとい 座間市消防団		
(2) 表彰旗	1団 川崎市高津消防団		
(3) 竿頭綬	3団 横浜市鶴見消防団、横浜市港南消防団、横浜市旭消防団		
(4) 功績章	20人		

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅲ 指導研修 ・調査研究	(5) 精績章 47人 (6) 勤続章 103人 (7) 優良婦人消防隊員 高津地区消防隊委員会 内木 奈生美	(公1)	
	1 神奈川県消防学校において次の研修会を開催した。		
	(1) 消防団幹部研修 (1日研修) ・対象者 分団長以下 ・出席者 52団 52名		6/17
	(2) 消防団副団長研修 (1日研修) ・出席者 51団 53名		7/8
	(3) 正副団長研修会 (1日研修) ・講師 奥田悦子 氏 カリキュラム 消防団員セーフティ・ファーストエイト® 研修 ・出席者 59団 200名		10/1
	(4) 消防団員指導者講習 (1日講習、計7回) ・対象者 副分団長以下 ・出席者 39団 322名		10/20,27 11/2,10,17,24 12/1
	(5) 消防団員指導員研修 (1泊2日研修) ・対象者 副団長以下 ・出席者 34団 34名 *消防団幹部実務必携12単位取得		10/4~5
	(6) 消防団員幹部候補研修 (1日研修) ・対象者 分団長以下 ・出席者 56団 56名		11/23
	(7) 消防団幹部地震対策特別講習 (1日講習) ・対象者 分団長以下 ・出席者 38団 61名		12/15
	(8) 女性消防団員等研修 (1日研修) ・対象者 女性消防団員、婦人消防隊員等 ・出席者 女性消防団員 40団 70名 婦人消防隊員等 6名 計76名		2/2
Ⅲ 指導研修 ・調査研究	(9) 消防団分団長研修 (1日研修分団指揮課程) ・出席者 39団 39名	(公1)	2/15
	(10) 横浜市が実施した研修 ・指導者講習 20団95人 ・分団長研修 20団38人		6/22 1/26
	2 第25回全国女性消防団員活性化青森大会へ参加した。 大会テーマ:「女性消防団員新時代へ“わ(わたし)” ど“な(あなた)”の出会い」 会場:新青森県総合運動公園マエダアリー ナ(青森市宮田字高瀬 22-2) 参加消防団員43名(女性38名、男性5名) 消防職員 3名 協会事務局4名		9/19~20
	Ⅳ 福祉対策		
Ⅳ 福祉対策	1 消防団員に対し次の区分により弔慰金・見舞金を贈呈した。	(他)	期間中
	(1) 弔慰救済 34名(4/1~3/31)		
	(2) 障害及び傷病救慰 7名(4/1~3/31)		
	(3) り災救慰 1名		
Ⅳ 福祉対策	2 慰霊碑管理委員会	(他)	
	(1) 第1回 於 シルクセンター		4/25

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
	(2) 第2回 於 シルクセンター		8/2
	3 神奈川県消防長会とともに神奈川県消防殉職者遺族会が行う消防殉職者遺族に対する援護活動を積極的に支援した。	(他)	
	(1) 神奈川県消防殉職者遺族会 第1回理事会 於 シルクセンター		4/25
	(2) 神奈川県消防殉職者遺族会 第2回理事会 於 シルクセンター		8/2
	(3) 遺族会懇談会 於 萬珍樓本店		1/30
V 防火思想の啓発	火災予防ポスターを配布し、火災予防思想の啓発高揚を図った。(10月、2月)	(公3)	10月、2月
VI 消防力の充実強化	1 消防団員確保のための普及・啓発活動の推進を図った。	(公1)	期間中
	2 日本消防協会が交付する防災車両等の積極的な配置要請を行った。 ・消防団活動車A(ワンボックス型)平塚市消防団に決定した。	(公1)	期間中 9/18
	3 青少年消防クラブ及び婦人消防隊の育成強化と普及広報活動を推進した。	(公1)	期間中
	4 女性消防団員制度導入に伴う普及啓発支援活動の支援を行った。	(公3)	期間中
	5 消防団活動の助成 各消防団(20支部)に交付金を交付し、活動の充実を図った。	(公1)	7/13
VII 日本消防協会との協力	1 消防個人年金制度の普及を図った。 加入状況 職団員合計954名	(他)	期間中 4/1現在
	2 消防団員福祉共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 58団 1協会 12,426名 (2) 福祉共済の取扱	(他)	期間中 1/1現在
	3 婦人消防隊員等福祉共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 1市 1町 14名 (2) 共済金の取扱	(他)	期間中 4/1現在
	4 全日本消防人共済会の行う火災共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 8団 1協会 524名 (2) 共済金の取扱	(他)	期間中
	5 消防育英会の行う育英事業の普及を図った。	(他)	期間中
	6 全国消防殉職者慰霊祭に、大津会長、安田副会長(遺族会監事)及び遺族代表3名が参列した。	(他)	9/12
	7 第25回全国女性消防団員活性化青森大会参加し、女性消防団員の育成と活性化を図った。(再掲) 会場：新青森県総合運動公園マエダアリーナ(青森市宮田字高瀬 22-2) 参加消防団員43名(女性38名、男性5名) 消防職員 3名 協会事務局4名	(公1)	9/19~20
	8 日本消防協会が主催する第46回消防団幹部特別研修へ団幹部を派遣し、知識技術の向上を図った。(3泊4日、川崎市麻生消防団長 土方 茂)	(公1)	1/21~24

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
VII 日本消防協会との協力	9 日本消防協会が主催する全国消防殉職者遺族会 理事会に関東地区役員の鈴木理事、安田監事が出席 した。 随行者 横川事務局長	(他)	1/31
	10 日本消防協会が主催する第19回消防団幹部候 補中央研修へ中堅男女団員を派遣して、将来の幹部 養成を図った。(2泊3日) (男性3名) 相模原市消防団 義澤 彰 川崎市多摩消防団 松澤大地 横浜市青葉消防団 徳江壽一 (女性2名) 大和市消防団 韓 静子 南足柄市消防団 小野果鈴 (欠席)	(公1)	2/5~2/7 2/19~21

事業区分

- (公1) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化事業
- (公2) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防団員の士気の高揚と組織の強化事業
- (公3) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための地域連携の強化事業
- (他) その他の事業